

公益財団法人 おかやま環境ネットワーク

～2023年度事業・決算報告 2024年度事業計画・予算～



暮らしを支える生態系サービス

～ 目 次 contents ～

2023年度事業報告	P. 1～18
2023年度財務諸表等・監査報告書	P.19～23
2030年に向けた組織行動方針	P.24
2024年度の事業計画・収支予算書	P.25～26
定款	P.27～30

平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

本誌を通じておかやま環境ネットワークについて一層のご理解を賜り、身近に感じていただければ幸いです。

今後も変わらぬご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

※活動は皆様のご支援に支えられています。ご入会・ご寄附等のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



公益財団法人 **おかやま環境ネットワーク**

Okayama Environment Network Foundation

～かけがえのない地球、未来のこどもたちへ～

2023年度の事業報告

(2023年04月01日～2024年03月31日)

1. はじめに

- ①「里海づくり推進部会」として、「里海シンポジウムin笠岡 豊かな海の再生・増やそう海の応援団」を開催しました。
- ②「おかやまの豊かな自然とくらしを考える部会」設立記念として、「くらしを支える生態系サービス～いま考えたい生産者と消費者のつながり」を開催しました。
- ③新型コロナ禍が明け5類移行となり、ほぼ計画通りの公益事業2（市民のための環境講座・体験プログラム）を開催することができました。また、下期には環境行政学習会を開催し、私たちのくらしに直接関わる施策などを学ぶことができました。

2. 公益事業1

(1) 助成事業

①助成活動報告会

- 1) 2022年度の助成6団体による報告会を、5月13日に実施しました。2023年度の助成団体も参加し、助成活動報告の提出方法等も確認しました。

	助成団体名 (2023 年度)	助成企画名 (2023 年度)
1	あかいわ美土里の和	里山再生プロジェクト
2	あかいわエコメッセ	第23回あかいわエコメッセ
3	つやま演劇教育研究会	演劇・番組製作を介した環境教育
4	おかやまエコマインドネットワーク	命を育む食べ物と食べ物を育む大地と海を考える
5	岡山学芸館高等学校	米子湾干潟におけるウミニナ類のすみわけについて
6	なださきホテルの会	年間活動事業

②助成部会

- 1) 2023年度は、6 団体に 6 5 万円の助成を行いました。

年度	団体数	金額	年度	団体数	金額	年度	団体数	金額
1999	5	6 5	2008	1 5	1 5 0	2017	8	1 0 0
2000	7	1 0 0	2009	1 1	9 4	2018	5	5 4
2001	1 3	1 1 0	2010	1 0	9 3	2019	8	9 8
2002	1 3	1 3 7	2011	1 2	1 0 0	2020	5	5 7
2003	1 6	1 5 0	2012	6	9 0	2021	9	8 2
2004	1 1	1 0 2	2013	8	1 0 2	2022	6	6 6
2005	1 5	1 4 7	2014	1 0	1 2 6	2023	6	6 5
2006	1 5	1 2 9	2015	1 1	1 7 5			
2007	1 2	1 2 0	2016	9	9 5	合計	2 4 6	2 , 6 0 4

- 2) 2024年度の助成申請の審査、助成募集要項及び助成活動報告の開催について協議しました。
- 3) 助成団体が企画する行事等に事務局が参加し、助成金の使用状況等を含め情報収集を図りました。

日程	企画名称など	備考
08/07 (月)	エコマインド主催「『希望の給食』上映と先進地視察報告会」	
09/03 (日)	エコマインド主催「『君の根は。大地再生にいどむ人びと』上映会」	助成対象

(2) ホタル保護事業

①ホタル団体交流会

- 1) 交流会は年間3回(4月・9月・2月)開催しました。
- 2) 9月度交流会では、23年の県内各地のゲンジボタルの上陸・飛翔情報と水温調査等のデータを持ち寄りました。上陸は4/4降雨時を起点としたこと、飛翔は由加以外での目に見える環境変化は確認できないものの地点ごとに昨年から増減があったことなどが報告されました。また、ビオトープ3カ所の比較では、蛹化ベッドの整備が上陸&蛹化以降に影響を与えていることを再確認しました。
- 3) 交流会として、3会場(村田製作所ビオトープ、御津大野川、由加蜚遊の水辺)でのホタル観察会を実施し、ビオトープでのホタル飛翔に向けた取り組みの実情、陸生ヒメボタルの生息場所や飛翔時間などゲンジボタルとの違いを学びました。

(3) 里海づくりの研究・交流

①里海づくり推進部会

- 1) 年間6回(5月・7月・8月・9月・11月・2月開催)開催しました。

②アマモ場再生活動支援

- 1) 日生でのアマモ場再生活動は、例年通りの市民参加型のアマモ種取り(6月)、アマモ種選別&種まき(9月)を開催しました。アマモの役割(産卵場・餌場・隠れ場、酸素の発生、ブルーカーボン、水温上昇の抑制など)や日生町漁協の漁師の皆さんが40年近く再生活動に取り組まれていること、アマモ場に設置した簡易漁礁を引き揚げ・解体しどんな生き物が棲んでいるのかなどを学びました。

③シンポジウム

- 1) 新型コロナ禍のため3年間開催延期してきた『里海シンポジウムin笠岡～豊かな海の再生・増やそう海の応援団～』を開催し、笠岡市立神内小学校、岡山県立笠岡高校、岡山学芸館高校、おかやまコープ井笠エリア、天野産業(株)、笠岡地区漁業協同組合より里海への学びや関わりの事例報告が行われ、地域・立場・世代を超えた連携の場になりました。

(4) 山・里・川保全の研究・交流

①おかやまの豊かな自然とくらしを考える部会(略:自然とくらし部会)

- 1) 年間8回(4月・5月・6月・7月・8月・10月・12月・2月)開催しました。
- 2) 7月末に予定したシンポジウム開催準備を中心に協議しました。県内の生物多様性の現状と課題、私たちのくらしとの関係を座学で学ぶ連続講座の具体化に向け検討を始めました。

②シンポジウム

- 1) 部会新設を広報する機会として『くらしを支える生態系サービス～いま考えたい生産者と消費者のつながり』を開催し、田中克氏の記念講演と、パネルディスカッション『森・里・海の恵みを知る～生産者と消費者はもっとつながろう!～』の中で森林(黒田眞路氏・(株)國六)、農業(北川昌昭氏・(株)ケイワイノベーション)、水産(高木秀蔵氏・岡山県農林水産総合センター)、行政(太田昇氏・真庭市長)の事例報告を受け、事例報告の内容を深める質疑応答を行ないました。

(5) 環境家計簿活動事業

①環境家計簿登録モニター

- 1) 登録数385世帯のうち2022年のモニター数は、125世帯(前年125世帯)でした。2021年と2022年の連続2年間分の全データが揃った99世帯の実績集計では、2021年比では1世帯当たりのCO2排出量は100.0%と、社会的にはコロナ禍明けでエネルギー消費量が増えている中でも増加が抑えられた結果となりました。2013年比では63.1%と大きく減らすことが出来ています。

②環境家計簿レポート、環境家計簿カレンダー

- 1) モニター実績をまとめ、岡山市と協働で環境家計簿レポート(7月)を発行しました。

- 2) 各家庭でのエネルギー使用の抑制、外出先でのゴミ捨て方やエシカル消費の視点など、環境にやさしいくらしの実現に役立つ情報を分かり易く提供するツールとして、岡山市と協働で環境家計簿カレンダーを12月に発行しました。

月	テーマ	月	テーマ
01月	オーバーシュート・デー	07月	E V普及とV2H
02月	住宅の断熱性能見直し	08月	持続可能なファッション
03月	スマート通勤を実践しよう	09月	ブルーカーボン
04月	プラスチックごみを考えた行動	10月	食料危機（岡山県の地産地消の状況）
05月	太陽光パネルと蓄電池のセット導入	11月	省エネ家電の買い替えでCO2削減
06月	ZEH（新築・リフォーム検討に向け）	12月	侵略的外来種による被害
特集	①気候変動の総費用 ②ティッピングポイント		

- 3) 環境家計簿委員会では、環境家計簿レポート、環境家計簿カレンダーの原稿作成をすすめました。

（6）エネルギー問題と気候変動、さまざまな廃棄物への対応、食糧危機への対応

①学習会の具体化

- 1) 運営委員会において、2023年度及び2024年度での具体化について協議を進めました。
- 2) 環境行政学習会として、「倉敷市生物多様性地域戦略と実施状況」（倉敷市環境政策課）、「～太陽と海が織りなす成長ビジョン～『豊かな自然と快適な暮らしが調和するまち』を目指して」（瀬戸内市環境部生活環境課）、「『脱炭素社会』の実現に向けて～みんなで止めよう地球温暖化～」(岡山市環境局環境部ゼロカーボン推進課)を開催し、行政と市民が一体となって目標実現に向け課題を共有しながら、どのように行動していこうとしているのかを学ぶ機会となりました。

②県内団体・個人とのネットワークづくりと情報収集

- 1) 今後の団体・個人等とのネットワークづくりに向け、引き続き事務局の情報収集を図りました。

（7）協働事業：他団体や行政などとの関係

①「アマモ播種ポット作成教室」

- 1) 地域と世代をつなぐ里海づくりの一環として、笠岡市の神内小学校でのアマモ播種ポット作成教室は、おかやまコープ井笠エリアの組合員の支援などを受け、23名の児童を対象に開催しました。児童はポットでの発芽と成長過程を観察した後、1月の大潮干潮時に神島寺間の干潟への定植といきもの観察を行ないました。
- 2) おかやまコープ組合員を対象に、ひなせうみラボ（岡山東エリア）とコープ鴨方（井笠エリア）で、アマモ苗ポット作成企画を開催しました。
- 3) 日生西小学校で、児童（19名）と日生中学校生徒（33名）を対象に、アマモ場再生教室開催しアマモの役割についての学習とアマモ苗ポットを作成しました。2月に日生・鹿久居島に潜水作業により定植を行ないました。

②「環境家計簿カレンダーを使って、くらし方の見直し学習会」

- 1) おかやまコープ組合員を対象に、電気代の高騰などくらしが厳しくなる中で、太陽光パネルと蓄電池を設置し自家消費するくらし方などを学ぶ学習会を開催しました。

③行政等との関係

組織名	委員会等	開催
備前市	専門部会など	4/11 専門委員会、6/12 里山部会、7/31 里山部会
	企画など	9/24 備前市民対象底曳き&つぼ網体験会、 1/15 備前市内児童対象アカマツ植樹会

瀬戸内市	企画など	5/28 牛窓筵江(むしろえ)海岸海ごみ回収
旭川かいぼり	実行委員会	5/22、9/28、10/17、11/24、2/22竹枝小学校発表会

- 1) 岡山市との協働による「環境家計簿レポート」「環境家計簿カレンダー」を発行しました。引き続き、岡山市以外の市町との協働発行について実現の可能性を探ります。
- 2) 備前市の里山ブランド推進協議会with ICM」の専門委員会は、協議によって備前市民のみを対象とした底曳き&つぼ網体験会が具体化され、地元日生町漁協での昔ながらの漁法を学びました。
- 3) 瀬戸内市とは、2022年度での生活環境部門との情報交換を起点に、瀬戸内市内で2カ所目となる海ごみ回収企画を協働開催し、肥料殻やマメグジなどを回収し、私たちのくらしとの関係を学びました。
- 4) 旭川かいぼり調査は、新型コロナ5類移行を受け、4年ぶりに一般参加者（初心者枠を設定）を募り開催しました。地元竹枝小学校の児童も参加し、ガサガサの体験とともに採取した魚や水生昆虫について学ぶ機会となりました。かいぼり地点では流量が非常に少ない状態が続いており、カジカとともにミナミメダカが例年以上に確認されました。

④各団体との関係

- 1) 「市民のための環境講座」等では、大野川いい川づくり、特定非営利活動法人里海づくり研究会、岡山野生生物調査会、公益財団法人水島地域環境再生財団、岡山淡水魚研究会等と共催による事業をすすめました。

(8) コープフェスタ

①ネットワークでのブース展示

- 1) ゲンジボタルの一生に関するパネル展示、蒜山自然再生協議会の紹介パネル展示（フサヒゲルリカミキリ含む）とともに、環境問題への関心などを問うアンケートを行ないました。

設問1： 環境問題で一番深刻だと思うテーマは？	プラスチックごみ 生物多様性 食料危機 地球温暖化	21 (14) 3 (6) 6 (11) 73 (42)
設問2： プラスチックごみで一番の問題は？	何度回収しても減らない 小さくなくてもなくなる 体内（血管内）に侵入する わからない、他	21 (17) 64 (42) 11 (11) 3 (3)
設問3： 再生可能エネルギーと生物多様性は 両立できる？	両立できる 再エネを優先すべき 生物多様性を優先すべき わからない、他	69 (41) 6 (12) 16 (12) 8 (8)
設問4： あなたの生活に温暖化対策とは？	生活の質を脅かす 生活の質を高める 生活の質には影響ない わからない、他	68 (14) 12 (35) 16 (19) 5 (5)

アスエコ主催の8/8環境教育ミーティングでも同様のアンケートを行ないましたが（カッコ内）、双方で「生物多様性って何？」という声が多く聞かれました。設問3の「両立できる」への回答も「両立できたらいいな」という希望的な思いを含めた回答となりました。これまでも生物多様性保全に関した企画を数多く実施してきましたが、参加者にさらに分かり易く生物多様性の保全や課題について伝える工夫が必要なが分かりました。

(9) 広報、事業決算報告、ニュース発行

- ①メールニュースの発行(月2回)とホームページやfacebookの更新で、情報報告をすすめました。
関係団体による発信要望を含め、行事案内をすすめました。
- ②活動紹介パンフレットや事業・決算報告書を様々な機会に配布し、活動紹介とともに新規会員の獲得を図り、6会員(個人4・団体1・企業1)の入会がありました。
- ③財団設立20周年記念シンポジウムを端緒にした県内全自治体への情報発信の継続を進めました。
- ④情報発信ツールが整備されていない団体が多数ある中で、団体間のネットワークづくりに向け、SNSなど共通媒体のさらなる活用とホームページのリニューアルを進めます。

3. 公益事業2

(1) 市民のための環境講座

①企画状況

- 1) 環境問題を正しく理解し、意識啓発や行動を促すことを目的に、企画を進めました。

日程	企画名称など
04/08(土)	村田製作所ビオトープ「さくら観察会」
04/29(土)	大野川「筍掘り&竹林の管理と野鳥観察」
05/27(土)	村田製作所ビオトープ「ホタル鑑賞会」
06/10(土)	大野川「ホタル調査会」
06/24(土)	由加蜚遊の水辺「ヒメボタル観察会」
07/17(月)	ひなせうみラボ・座学「わたしたちの暮らしと海」⇒中止
10/14(土)	大野川「いきもの調査会」
10/25(水)	岡山西エリア「環境カレンダーでくらし方見直してみませんか？」
11/05(日)	御津竹枝「旭川かいぼり調査(かいぼり調査実行委員会)」

②概要

- 1) おかやまコープ岡山西エリアの要請で開催した環境カレンダー2023を使用した学習会では、自宅の断熱性能を向上することは冷暖房費の削減やヒートショックなど健康にもよいだけでなく二酸化炭素の使用削減にもつながる家計にも地球にも優しい取り組みであること、家庭部門でのカーボンニュートラル実現に向け家族で、リフォームや家電の買い替えなどについて話し合いをすることが大切ということを学びました。

(2) 体験プログラム

①企画状況

- 1) 次代を担う子どもの参加する取り組みを大切に考え、自然にふれ親しみ、自然との共生、自然の大切さ、いのちのつながりなどを伝え、自然環境や普段のくらしを考えるきっかけをつくることを目的に企画を進めました。

日程	企画名称など(カッコ内はおかやまコープとの共催企画など)
05/27(土)	美咲町「みんなで楽しむ初夏の里山と田んぼビオトープ」
05/28(土)	牛窓町「きれいな砂浜を取り戻そう!~みんなで海ごみ回収しませんか~」
06/03(土)	日生「アマモ種取り&アマモ場いきもの観察会」
07/22(土)	村田製作所「ビオトープ子ども企画①ライトトラップ」
08/11(金)	村田製作所「ビオトープ子ども企画②セミ抜け殻調査&ガサガサ」
08/19(土)	大野川「川あそび」
09/16(土)	日生「アマモ種選別&種まき体験」
09/18(月)	石妻「秋の猛禽の渡り観察会」
09/30(土)	村田製作所「ビオトープ・子ども企画③秋の虫見つけ!」
10/07(土)	美咲町「みんなで楽しむ秋の里山と田んぼビオトープ」⇒中止
10/10(火)	岡山東エリア「あまも育て隊~海のゆりかごを未来へ~」

10/11 (水)	笠岡市立神内小学校「アマモ播種ポット作成教室」
10/19 (木)	岡山学芸館高校「アマモ播種ポット作成授業」
10/24 (火)	井笠エリア「アマモ場再生活動・アマモポット苗づくり」
11/10 (金)	備前市立日生西小学校&日生中学校「アマモ播種ポット作成教室」
12/03 (日)	邑久町「扇海岸海ごみ回収体験」
01/27 (土)	村田製作所「ビオトープ・子ども企画④ビオトープで見られる野鳥観察」

②概要

- 1) おかやまコープ岡山東エリアの要請で開催したあまも育て隊では、アマモ苗ポット（ペットボトル）の作成後に、田中丈裕氏（弊財団理事）より瀬戸内海で進んでいる酸性化、貧栄養化、海水温上昇などの影響が魚や貝類などの生息環境にも様々な影響が引き起こしていること、アマモは小魚などのゆりかごとなると同時に、ブルーカーボンとして地球温暖化抑制にも貢献していることなどを学びました。

4. 事業共通

(1) 今後の公益事業取り組みへの情報収集

- ①次年度以降の環境講座等の企画に関する情報収集、県内で環境に関わる企画を主催している団体等との交流やネットワークづくりを図ること、2030年に向けた事業テーマに関する継続的な情報収集を目的に、各種行事等への事務局参加をすすめました。

【森・里・川・海などの生態系保全への対応】

日程	企画名称など	会場など
04/01 (土)	山焼き隊「蒜山の草原を守ろう！山焼き草原保全活動」(4/2、4/9)	蒜山鳩ヶ原
04/05 (水)	ホタル幼虫上陸観察（ゲンジボタル）	村田製作所
04/16 (日)	日本学術会議「地球上の環境変動と生物リズム」	オンライン
05/07 (日)	「社会人大学生物学部『昆虫科』①（越山洋三氏）	岡山県自然保護C
05/14 (日)	釧路国際WLC「ラムサール条約釧路会議30周年記念事業シンポジウム」	オンライン
05/19 (金)	ホタル観察（ゲンジボタル・ヘイケボタル）	灘崎奥迫川
05/21 (日)	津黒いきものふれあいの里「新緑のブナ林で夏鳥観察」	山乗溪谷他
05/24 (水)	ホタル観察（ゲンジボタル・ヘイケボタル）	灘崎奥迫川
06/03 (土)	ホタル観察（ゲンジボタル・ヘイケボタル）	灘崎奥迫川
06/04 (日)	「社会人大学生物学部『昆虫科』②（越山洋三氏）	岡山県自然保護C
06/05 (月)	ホタル観察（ゲンジボタル）	浅口市上竹
06/06 (火)	ホタル観察（ゲンジボタル）	湯郷大谷川・美作市河会
06/07 (水)	ホタル観察（ゲンジボタル）	北房ほたる公園
06/08 (木)	徳島大学「とくしまの環境を学ぼう・地域で広葉樹林を再生する取り組み」	オンライン
06/08 (木)	ホタル観察（ゲンジボタル）	高梁市福地
06/11 (日)	日本学術会議「最終氷期以降の日本列島の気候・環境変動と人類の応答」	オンライン
06/14 (水)	ホタル幼虫上陸観察（ゲンジボタル・ヘイケボタル）	西大寺山南
06/15 (木)	ホタル幼虫上陸観察（ゲンジボタル）	辛香
06/17 (土)	津黒いきものふれあいの里「夏の草原保全・花咲く草原の夏草刈り」	蒜山鳩ヶ原
06/22 (木)	徳島大学「とくしまの環境を学ぼう・100年の森林、100年の産業を創る」	オンライン
06/25 (日)	ホタル観察（ゲンジボタル）	津黒いきものふれあいの里
06/28 (水)	EPO北海道「北海道生物多様性保全ダイアログ～再生可能エネルギー導入における生物多様性保全への配慮」	オンライン
07/01 (土)	備前市「SEA TO SUMMIT2023 環境シンポジウム（畠山重篤氏講演）」	備前市総合運動公園
07/02 (日)	「社会人大学生物学部『昆虫科』③（越山洋三氏）	岡山県自然保護C
07/07 (金)	森林総合研「シンボ・エリートツリー等を活かす施業モデルとデジタルツールの開発」	オンライン

07/07 (金)	ホテル観察 (ヒメボタル)	備前市吉永町
07/18 (火)	環境省「OECM の設定・管理の推進に関する検討会・30by30 に係る経済的インセンティブ等検討会」	オンライン
07/23 (日)	津黒いきものふれあいの里「津黒高原湿原で生き物観察」	津黒湿原
09/03 (日)	ほくぼうホテル学	北房文化C
09/06 (水)	J E E F 「市民のための環境公開講座・日本の森ってどんな森？」	オンライン
09/12 (火)	環境省「I P B E S 総会第 10 回会合結果・侵略的外来種とその管理に関するテーマ別評価」	オンライン
09/12 (火)	J - G B F 「生物多様性枠組実現日本会議第 2 回総会」	オンライン
09/13 (水)	J E E F 「市民のための環境公開講座・いまさら聞けない自然資本・生物多様性」	オンライン
09/20 (水)	猛禽の渡り観察 (ハチクマ・サシバ)	岡山市石妻
09/27 (水)	猛禽の渡り観察 (ハチクマ・サシバ)	岡山市石妻
09/28 (木)	E P O 北海道「なぜ自治体が生物多様性保全に取り組むのか～地域戦略の意義」	オンライン
10/01 (日)	「社会人大学生物学部『昆虫科』⑤ (越山洋三氏)」	岡山県自然保護C
10/04 (水)	中環審「自然環境部会野生生物小委員会」	オンライン
10/04 (水)	J E E F 「市民のための環境公開講座・レストランから始めるネイチャーポジティブ」	オンライン
10/08 (日)	湿地ボランティア体験	岡山県自然保護C
10/12 (木)	ウォータープロジェクト「グッドプラクティス塾～水辺の保全・活用における連携の新たな形」	オンライン
10/13 (金)	中環審「自然再興の実現に向けた民間等の活動促進に関する小委員会」	オンライン
10/18 (水)	J E E F 「市民のための環境公開講座・次世代に豊かな海洋資源を引き継ぐためのテクノロジーとサステナブルシーフード」	オンライン
10/22 (日)	湿地ボランティア体験	岡山県自然保護C
10/28 (土)	貝類物語記念講演	岡山県自然保護C
10/30 (月)	J - G B F 「地域連携フォーラム」	オンライン
10/31 (火)	森林総研「シンポ・森林が主導するネイチャーポジティブ～生物多様性の研究と実践の最前線～」	オンライン
11/01 (水)	J E E F 「市民のための環境公開講座・カボックノットと共に学ぶ、社会性と事業性を両立するソーシャルビジネスの在り方とは」	オンライン
11/03 (金)	N O R N A C 「自然系調査研究機関連絡会議 26・シンポ」	オンライン
11/11 (土)	児島湖流域エコウェブ「創立 20 周年記念シンポジウム」	
11/11 (土)	日本自然保育学会「基調講演・環境教育額から自然保育学に期待すること」	オンライン
11/15 (水)	J E E F 「市民のための環境公開講座・コロナ後のもうひとつの生き方」	オンライン
11/26 (日)	日本学術会議「シンポ・動物科学の最前線：めくるめく多様性を科学する」	オンライン
11/27 (月)	中環審「自然環境部会自然再興の実現に向けた民間等の活動促進に関する小委員会」	オンライン
11/28 (火)	国交省「辺からはじまる生態系ネットワーク全国フォーラム」	オンライン
11/28 (火)	FICoN「拡がる建築用途への地域材利用 ―北海道での取組事例―」	オンライン
11/29 (水)	コープさっぽろ「コープ未来の森づくり基金・あすもりフォーラム 2023」	オンライン
12/06 (水)	森林総研「シンポ・森林が主導するネイチャーポジティブ～生物多様性の研究と実践の最前線～」	オンライン
12/08 (金)	環境省「有明海・八代海等総合調査評価委員会」	オンライン
12/10 (土)	京都府「シンポ・生物多様性からみる京都学①京都の自然はオモシロイ！」	オンライン
12/11 (月)	環境省「COP28・国際連携によるブルーカーボンの推進」	オンライン
12/13 (水)	水産庁「海業推進全国協議会」	オンライン
12/14 (木)	E P O 北海道「次期北海道生物多様性保全計画についての意見交換会」	オンライン

12/15 (金)	日本学術会議「シンポジ・水産・海洋分野における AI の役割と課題」	オンライン
12/17 (日)	ほくぼうホタル学	北房文化 C
12/18 (月)	GEN「気候変動と生物多様性・地球温暖化現象がもたらす生き物や生態系への影響」	オンライン
12/21 (木)	森林総研「人の生活圏で発生するナラ枯れ被害に対する取り組み」	オンライン
12/22 (金)	環境省「希少野生動植物種専門家科学委員会」	オンライン
12/22 (金)	環境省「海岸生態系の新たな脅威・ニホンジカによる海浜植生への影響と対策」	オンライン
01/09 (火)	環境省「令和の里海づくり・モデル事業の公募説明会」	オンライン
01/09 (火)	環境省「有明海・八代海等総合調査評価委員会」	オンライン
01/22 (月)	京都市サーチパーク「生物多様性をめぐる事業・社会活動～ネイチャーポジティブ時代をむかえて」	オンライン
01/23 (火)	中環審「自然環境部会自然再興の実現に向けた民間等の活動促進に関する小委員会」	オンライン
01/26 (金)	国土緑化機構「シンポ・全国で広げる！協働による森林づくり」	オンライン
01/27 (土)	国際エメックスセンター「高校生海洋環境保全研究発表会」	オンライン
01/29 (月)	国連大学「持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム」	オンライン
02/12 (月)	みずしま財団「高校生のための高梁川流域勉強会&魚料理体験会」	オンライン
02/15 (木)	環境省・農水省「生態系被害防止外来種リストの見直しに係る検討会」	オンライン
02/19 (月)	GEN「人と森の距離感・現代ドイツ身近な巨樹の物語」	オンライン
02/21 (水)	EPO九州「島しょ意見交換会・身近な自然資本活用ダイアログ」	オンライン
02/22 (木)	中環審「自然環境部会」	オンライン
02/22 (木)	FICoN「ウェブ検討会 ～『森林サービス産業』の地域への展開～」	オンライン
02/29 (木)	環境省「サンゴ礁生態系保全行動計画 2022-2030 フォローアップ会議」	オンライン
03/09 (土)	児島湖流域水質保全基金「児島湖人工干潟・環境かんさつ会」	オンライン
03/10 (日)	岡山市「環境保全成果報告会」	オンライン
03/14 (木)	環境省中四事務所「瀬戸内海・日本海の海の変化とこれからの地域産業について」	オンライン
03/17 (日)	札幌市環境プラザ「ちょっとディープな環境のお話・冷たいミズゴケの熱いおはなし」	オンライン
03/18 (月)	GEN「人と森の距離感・中近世ヨーロッパにおける都市と森林」	オンライン
03/19 (火)	環境省「有明海・八代海等総合調査評価委員会」	オンライン
03/19 (火)	京大オリジナル「京大テックフォーラム『自然資本』『微細藻類』『ものづくり（生物規範）』研究の社会実装へ」	オンライン
03/20 (水)	ほくぼうホタル学	北房文化 C
03/26 (火)	ホタル幼虫上陸観察（ゲンジボタル）	灘崎奥迫川
03/28 (木)	ホタル幼虫上陸観察（ゲンジボタル）	灘崎奥迫川
03/30 (土)	日本昆虫学会「分野を越え海を越える昆虫科学」	オンライン
03/31 (日)	湿地ボランティア体験	岡山県自然保護 C

【エネルギー問題を踏まえた気候変動への対応】

日程	企画名称など	会場など
04/07 (金)	CASA「気候危機～パリ協定の1.5℃目標を失わないために」	オンライン
04/11 (火)	日本学術会議「気候変動がもたらす災害対策・防災研究の新展開」	オンライン
04/21 (金)	IGES「排出ギャップ報告書 2022 残された時間はわずか（略）」	オンライン
04/24 (月)	経産省・環境省「再生可能エネルギー発電設備の廃棄・リサイクルのあり方に関する検討会①」	オンライン
04/28 (金)	中環審「地球環境部会地球温暖化対策計画フォローアップ専門委員会⑤」	オンライン
05/11 (木)	環境省「洋上風力発電の環境影響評価制度の最適な在り方に関する検討会」	オンライン

05/12 (金)	日本学術会議「カーボンニュートラル時代の熱利用～革新技術と社会実装」	オンライン
05/19 (金)	経産省・環境省「再生可能エネルギー発電設備の廃棄・リサイクルのあり方に関する検討会②」	オンライン
05/22 (月)	経産省・環境省「シンポ IPCC 第 6 次評価報告書 統合報告書から気候変動の最新知見を学ぶ」	オンライン
05/25 (木)	CAN-Japan「屋根置き太陽光パネル設置を全国で標準化するには」	オンライン
05/26 (金)	環境省「地域脱炭素を推進するための地方公共団体実行計画制度等に関する検討会」	オンライン
05/29 (月)	中環審「地球環境部会地球温暖化対策計画フォローアップ専門委員会⑥」	オンライン
05/31 (水)	中国電力「脱炭素セミナー 2023in 岡山」	オンライン
06/01 (木)	環境省「洋上風力発電の環境影響評価制度の最適な在り方に関する検討会」	オンライン
06/08 (木)	グリーン連合「グリーン連合シンポジウム」	オンライン
06/19 (月)	経産省・環境省「再生可能エネルギー発電設備の廃棄・リサイクルのあり方に関する検討会③」	オンライン
06/24 (土)	CASA「地球環境市民講座・原発政策は温暖化対策に有効か？」	オンライン
06/26 (月)	IGES「欧州の気候市民会議からの学び」	オンライン
06/27 (火)	環境省「温室効果ガス排出削減等指針検討委員会①」	オンライン
06/29 (木)	徳島大学「とくしまの環境を学ぼう・再エネ中心の持続可能な社会を！～原発抜きで気候危機を克服しよう～」	オンライン
06/30 (金)	環境省「地域脱炭素を推進するための地方公共団体実行計画制度等に関する検討会③」	オンライン
07/04 (火)	香川「自然エネルギー 100%社会学習会」	オンライン
07/08 (土)	自然エネ市民の会「気候危機、バイオ炭が地球を守る」	オンライン
07/12 (水)	環境省「地域再エネセミナー・自治体が地域エネルギーに取り組むべき理由」	オンライン
07/13 (木)	環境省「洋上風力発電の環境影響評価制度の最適な在り方に関する検討会」	オンライン
07/15 (土)	CASA「地球環境市民講座・遅れる日本の再エネ導入と地域での再エネ」	オンライン
07/18 (火)	経産省・環境省「再生可能エネルギー発電設備の廃棄・リサイクルのあり方に関する検討会④」	オンライン
07/19 (水)	環境省・国環研「気候変動適応セミナー・熱中症対策シンポジウム」	オンライン
07/19 (水)	CAN-Japan「脱炭素地域づくりと地域新電力～地域の経済循環をめざして」	オンライン
07/24 (月)	環境省「環境配慮法基本方針検討会」	オンライン
07/25 (火)	ローカルグッド創成支援機構「地域で再エネ・まちづくりを仕事にするセミナー」	オンライン
07/26 (水)	環境省「地域再エネセミナー・地域エネルギービジョン脱炭素シナリオの設計」	オンライン
07/26 (水)	アスエコ「おかやま省エネ住宅普及促進セミナー」	国際交流C
07/27 (木)	環境省「地域脱炭素を推進するための地方公共団体実行計画制度等に関する検討会④」	オンライン
08/04 (金)	CASA「アメリカのエネルギー脱炭素化対策最前線」	オンライン
08/05 (土)	笹川平和財団「地球温暖化に挑む海洋教育プログラムオンライン研修会」	オンライン
08/09 (水)	経産省・環境省「再生可能エネルギー発電設備の廃棄・リサイクルのあり方に関する検討会⑤」	オンライン
08/11 (金)	岡山市ZEH宿泊体験 in おかやま (～ 08/12)	近藤建設興業
08/17 (木)	中環審「地球環境部会地球温暖化対策計画フォローアップ専門委員会」	オンライン
08/17 (木)	CAN-Japan「省エネ再エネの家をみんなが買えるために～行政と銀行にできることを考えよう」	オンライン
08/21 (月)	香川「自然エネルギー 100%社会学習会・歌川学さん講演会」	オンライン

08/22 (火)	環境省「地域再エネセミナー・地域に合った再エネ導入を探る」	オンライン
08/28 (月)	農都会議「地域のエネルギー自給と脱炭素化勉強会」	オンライン
08/25 (金)	環境省「環境配慮契約法基本方針検討会・建築物専門委員会①」	オンライン
09/12 (火)	環境省「環境配慮契約法基本方針検討会・電力専門委員会①」	オンライン
09/12 (火)	環境省「地域再エネセミナー・多様な設置場所に拡がる再エネ」	オンライン
09/16 (土)	日本弁護士会「シンポ・「メガソーラー及び大規模風力による開発規制条例の実効性確保～地域の自然環境及び生活環境を守るための処方箋～」	オンライン
09/27 (水)	環境省「地域再エネセミナー・再エネ導入の壁を乗り越えるために」	オンライン
09/28 (木)	環境省「再エネ導入のためのオンラインセミナー～多様な設置場所に拡がる再エネ～」	オンライン
10/05 (木)	東京都産業労働局「GX普及啓発シンポジウム 2023」	オンライン
10/05 (木)	CASA「2050年脱炭素シナリオ～自然エネルギー100%の未来を考える」	オンライン
10/06 (金)	環境省「気候関連財務情報開示を企業の経営戦略に活かすための勉強会・TCFDの概況」	オンライン
10/06 (金)	気候変動イニシアティブ「気候変動アクション日本サミット 2023」	オンライン
10/12 (木)	環境省「環境配慮契約法基本方針検討会建築物専門委員会」	オンライン
10/16 (月)	ひょうご環境創造協会「地球温暖化対策・気候変動適応フォーラム～異常気象と私たちの食卓」	オンライン
10/17 (火)	環境省「気候関連財務情報開示を企業の経営戦略に活かすための勉強会・TCFDシナリオ分析の実践」	オンライン
10/18 (水)	EPO北海道「気候変動が第一次産業や日常生活に与える影響と適応の取組」	オンライン
10/27 (金)	環境省「CCUSの早期社会実装会議～CCUS技術実証等に係る取組と成果～」	オンライン
10/30 (月)	環境省「気候関連財務情報開示を企業の経営戦略に活かすための勉強会・TCFDと経営戦略の統合」	オンライン
11/06 (月)	環境省「環境配慮法基本方針検討会」	オンライン
11/06 (月)	中環審「総合政策部会・風力発電に係る環境影響評価制度の在り方に関する小委員会」	オンライン
11/09 (木)	中国電力「脱炭素セミナー 2023 in 山陰」	オンライン
11/16 (木)	環境省「脱炭素で豊かな暮らしに関するG7プラットフォーム・国際オンラインワークショップ」	オンライン
11/19 (日)	岡山中枢都市圏「ゼロカーボン研究会～家庭・市民の脱炭素化を考える～」	オンライン
11/24 (金)	三菱製紙㈱「環境セミナー・どうする！気候変動とカーボンニュートラル」	オンライン
11/24 (金)	環境省「再生可能エネルギー発電設備の廃棄・リサイクルのあり方に関する検討会」	オンライン
11/25 (土)	CASA「最近の異常気象と地球温暖化～今年の夏の高温は温暖化がなければおこらなかった～」	オンライン
11/28 (火)	国環研「気候変動リスク産官学連携ネットワーク公開シンポジウム～気候変動リスクに対する企業のレジリエンス強化に向けて～」	オンライン
12/08 (金)	原子力資料情報室「原発の気候変動脆弱性研究会報告書・原発は気候危機に耐えられるか」	オンライン
12/14 (木)	環境省「気候関連財務情報開示を企業の経営戦略に活かすための勉強会・これからのサステナビリティ経営」	オンライン
12/20 (水)	RITE「革新的環境技術シンポジウム 2023 ～2050年カーボンニュートラルを支えるイノベーション～」	オンライン
12/20 (水)	北海道エコビレッジ推進PJ「地域を支える自然エネルギー」	オンライン
12/25 (月)	文科省「シンポ・教科書では分からない気候変動～最近の異常気象から長期対策の必要性まで～」	オンライン
01/09 (火)	中環審「水環境・土壌農薬部会海底下CCS制度専門委員会」	オンライン
01/13 (土)	CASA「COP28報告会」	オンライン

01/15 (月)	環境省「地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業（環境省 R & D 事業）成果発表会」	オンライン
01/17 (水)	四国経産局「エネルギー使用合理化シンポジウム」	オンライン
01/17 (水)	ワタシのミライ「気候危機を止めるために今年できること！」	オンライン
01/18 (木)	原子力資料情報室「シンポ・能登半島地震から問い直す原発稼働の危険性」	オンライン
01/18 (木)	I G E S 「C O P 2 8 報告会」	オンライン
01/23 (火)	中環審「地球環境部会気候変動影響評価・適応小委員会」	オンライン
01/25 (木)	経産省「再生可能エネルギー長期電源化・地域共生ワーキンググループ」	オンライン
01/25 (木)	CAN-Japan「洋上風力の今とこれから」	オンライン
01/26 (金)	CAN-Japan「C O P 2 8 報告会」	オンライン
01/29 (月)	G コープ「託送料金訴訟学習会」	オンライン
02/01 (木)	環境省「再エネ導入のためのオンラインセミナー～令和 6 年度補助事業および多様な導入事例の紹介～」	オンライン
02/07 (水)	東京都「GX 普及啓発シンポジウム 2023」	オンライン
02/08 (木)	原子力市民委員会「“風評加害” という言葉のもつ意味」	オンライン
02/09 (金)	国環研「シンポ・地域の適応策推進に向けて研究成果を活かすために」	オンライン
02/14 (水)	中環審「地球環境部会」	オンライン
02/14 (水)	環境省「既設砂防堰堤を活用した小水力発電に関する普及啓発セミナー」	オンライン
02/17 (土)	C A S A 「エネルギー価格の動向と再エネへの転換の可能性」	オンライン
02/19 (月)	環境省中四環境事務所「気候変動適応中国四国広域協議会」	オンライン
02/20 (火)	経産省「総合資源エネルギー調査会電力・ガス事業分科会原子力小委員会」	オンライン
02/21 (水)	エネ庁「シンポ・大切なエネルギーと紡ぐ私たちの未来～どこかの誰かだけの問題じゃない地層処分～」	オンライン
02/26 (月)	I G E S 「脱炭素社会実現のための都市間連携セミナー」	オンライン
02/27 (火)	環境省「先進的窓リノベ 2024 事業活用セミナー～賃貸集合住宅編～」	オンライン
02/27 (火)	I S E P 「シンポ・地域の熱分野の脱炭素化へのロードマップ」	オンライン
02/28 (水)	経産省「総合資源エネ調・電力ガス事業分科会電力ガス基本政策小委員会」	オンライン
03/01 (金)	経産省「局地的電力需要増加と送配電ネットワークに関する研究会」	オンライン
03/04 (月)	経産省・文科省「I P C C シンポ・第 7 次評価サイクル (AR7) 始動！」	オンライン
03/05 (火)	中環審「地球環境部会気候変動影響評価・適応小委員会」	オンライン
03/11 (月)	環境省「既存インフラ等を活用した再エネ導入促進セミナー」	オンライン
03/12 (火)	環境省「先進的窓リノベ 2024 事業活用セミナー～分譲集合住宅編～」	オンライン
03/13 (水)	環境省「脱炭素経営フォーラム・バリューチェーン全体での脱炭素化」	オンライン
03/13 (水)	CAN-Japan「EV と脱炭素－これからのクルマ」	オンライン
03/15 (金)	おおさか A T C 「住宅における脱炭素社会の実現に向けて～ 2025 年からの『省エネ住宅義務化』は通過点～」	オンライン
03/21 (木)	中環審「地球環境部会 C N 行動計画フォローアップ専門委員会」	オンライン
03/21 (木)	環境省「気候変動適応全国大会」(3/22 (金))	オンライン
03/26 (火)	S P E E D A 「産総研の本気・ペロブスカイト太陽電池の勝ち筋」	オンライン

【廃プラスチックをはじめ私達のくらしから発生するさまざまな廃棄物への対応】

日程	企画名称など	会場など
05/10 (水)	C A S A 「プラスチックごみを考える学習会⑨家庭のプラごみ削減&リサイクルを考える」	オンライン
06/05 (月)	中環審「循環型社会部会④」	オンライン
06/15 (木)	環境省「P F A S に対する総合戦略検討専門家会議③」	オンライン
06/16 (金)	環境省「P E O S ・ P F O S に係る水質の目標値等の専門家会議②」	オンライン

06/29 (木)	日本野鳥の会「海洋プラスチックの問題を考えよう・身の回りのマイクロプラスチックと、私たちにできること」	オンライン
07/13 (木)	徳島大学「とくしまの環境を学ぼう・廃棄物の未来」	オンライン
07/15 (土)	海ごみ回収企画	胸上海岸
07/15 (土)	みずしま財団「海ボウズプロジェクト（水路でのごみ回収イベント）」	水島八間川
07/26 (水)	中環審「循環型社会部会⑦」	オンライン
07/28 (金)	中環審「循環型社会部会静脈産業の脱炭素型資源循環システム構築に係る小委員会循環型社会部会①」	オンライン
08/02 (水)	中環審「循環型社会部会⑧」	オンライン
08/20 (日)	みんなでびぜん「鹿久井島海ごみ回収」	鹿久井島
08/31 (木)	中環審「循環型社会部会⑨」	オンライン
09/04 (月)	EPO北海道「地域循環共生圏構築に向けた『炭化力の可能性』学習会～地域の未利用資源の活用、農業の振興と脱炭素化、まちづくりと雇用創出等の観点から～」	オンライン
09/11 (月)	アスエコ「環境学習指導者レベルアップ研修会・海ごみ」	国際交流C
09/20 (水)	日本野鳥の会「海洋プラスチックの問題を考えよう・プラスチック製品に含まれる有害化学物質とは」	オンライン
10/09 (月)	ESD-J「市民調査で持続可能な社会を創る～スーパーマーケット環境調査の結果を活かし、広める～」	オンライン
10/26 (木)	中環審「循環型社会部会静脈産業の脱炭素型資源循環システム構築に係る小委員会循環型社会部会②」	オンライン
11/07 (火)	環境省「地域循環共生圏フォーラム 2023」	オンライン
11/14 (火)	滋賀グリーン活動NW「グリーン経済フォーラム 2023・今求められるパライムシフト『サーキュラーエコノミー』～廃棄物を減らす、無くす、資源にするモノづくり～」	オンライン
11/22 (水)	中環審「循環型社会部会静脈産業の脱炭素型資源循環システム構築に係る小委員会循環型社会部会④」	オンライン
12/01 (金)	日本野鳥の会「海洋プラスチックの問題を考えよう・最も危険な海洋プラスチック『ゴーストギア』を防ぐには」	オンライン
12/11 (月)	中環審「循環型社会部会」	オンライン
12/12 (火)	CASA「プラスチックごみを考える学習会・神戸市のプラごみ対策」	オンライン
12/19 (火)	中環審「循環型社会部会食品リサイクル専門委員会」	オンライン
12/27 (水)	環境省「化学物質と環境に関する政策対話」	オンライン
01/12 (金)	中環審「環境保健部会化学物質審査小委員会等合同会合」	オンライン
01/28 (日)	アスエコ「レベルアップ講座・海ごみカードゲームの体験」	オンライン
02/10 (土)	岡山ESD推進協議会「SDGs海川フォーラム」	オンライン
02/13 (火)	北海道「環境道民会議フォーラム2024～世界のトレンド？知っておきたい！サーキュラーエコノミー」	オンライン
02/21 (水)	環境省・厚労省「PFOS・PFOAに係る水質の目標値等の専門家会議」	オンライン
02/23 (金)	岡山県「海ごみ・プラごみ削減フォーラム」	オンライン
02/24 (土)	みんなでびぜん「瀬戸内海海ごみゼロ作戦@鹿久居島」	オンライン
03/03 (日)	かながわ海岸美化財団「海ごみセミナー・私たちが出したごみが深海に？」	オンライン
03/04 (月)	中環審「循環型社会部会」	オンライン
03/06 (水)	環境省「資源循環分野における脱炭素・循環経済に係るシンポ」	オンライン
03/07 (木)	環境省「化学物質の内分泌かく乱作用に関する公開セミナー」	オンライン
03/08 (金)	日本野鳥の会「海洋プラスチックの問題を考えよう・プラスチック国際条約の現在地 - 政府間交渉はどう進んでいるか」	オンライン
03/09 (土)	環境省「海洋プラスチックごみ学術シンポ」	オンライン
03/11 (月)	経産省「化学物質審議会・産業構造審議会製造産業分科会化学物質政策小委員会合同会議」	オンライン

03/14 (木)	中環審「水環境・土壌農業部会農業小委員会」	オンライン
03/23 (土)	みずしま財団「海ボウズプロジェクト活動報告会」	水島愛あいサロン
03/26 (火)	日本総研「CCU／バイオフィナリーで築く石油なき時代の地域産業」	オンライン

【食糧危機への対応】

日程	企画名称など	会場など
06/10 (土)	日本学術会議「安全安心な未来の食料生産を考える～昆虫がつなぐ2050年の食生活～」	オンライン
06/22 (木)	日本農林漁業振興会「優秀農林水産業者に係るシンポジウム」	オンライン
06/24 (土)	たねをまもる会「食と農の今と未来～鈴木宣弘先生講演会」	オンライン
07/15 (土)	日本有機農業研究会「有機農業市民セミナー「沈黙の春」から「沈黙の夏」へー小規模複合有機農業の地平ー」	オンライン
08/29 (火)	農林水産政策研「研究成果報告会・2032年における世界の食料需給見通し及びロシアのウクライナ侵攻が世界の食料需給に与えた影響」	オンライン
09/15 (金)	農水省「汚泥資源を利用した肥料成分を保証可能な新たな公定規格案(菌体りん酸肥料)に関する説明会」	オンライン
09/26 (火)	国際農研「雑穀セミナー『雑穀ー栄養・農業・気候の課題に対応する潜在能力』」	オンライン
10/12 (木)	農水省「畜産環境シンポジウム」	オンライン
10/23 (月)	上智大「持続可能な食システムへ・いかに転換させるか？」	オンライン
11/11 (土)	秀明自然農法NW「設立20周年記念シンポジウム&フェスタ」	オンライン
11/15 (水)	農研機構「有機農業シンポジウムー水田有機農業の成長に向けてー」	オンライン
11/16 (木)	農研機構「市民公開シンポ～有機農業でつながる環境・地域・未来」	オンライン
11/17 (金)	国際農研「国際シンポジウム2023・強靱な熱帯林と持続的な産業の共存を実現するイノベーションに向けて」	オンライン
12/06 (水)	農林水産政研「中山間地域における持続的な地域づくり～鳥取県日野町リノベーションLabでの研究の今とその先へ～」	オンライン
12/08 (金)	中四農政局「中国四国地域産地向けセミナー～みどり技術ネットワーク会議～」	オンライン
12/12 (火)	農文協「『アグロエコロジー』日本語訳出版記念オンライン公開セミナー」	オンライン
12/19 (水)	農林水産政研「研究成果報告会・激動する日本農業・農村構造ー2020年農業センサスの総合分析からー①」	オンライン
01/10 (水)	農水省「農村RMO推進研究会」	オンライン
02/20 (火)	農林水産政研「研究成果報告会・激動する日本農業・農村構造ー2020年農業センサスの総合分析からー③」	オンライン
02/29 (木)	環境省「気候変動×生物多様性による豊かな地域づくり～食と環境の未来を中心に～」	オンライン
03/10 (日)	EPO東北「食のサステナビリティ推進フォーラム in 東北」	オンライン

【その他】

日程	企画名称など	会場など
05/29 (月)	中環審「総合政策部会」	オンライン
05/29 (月)	環境省「関西SDGsプラットフォーム・先達に学ぶ！持続可能な経済・社会・地域の創り方」	オンライン
06/18 (日)	アスエコ「リスク管理講習会(水辺編)」	岡山中消防署
06/30 (金)	中環審「総合政策部会」	オンライン
07/07 (金)	EPO四国「ローカルSDGs四国フォーラム」	オンライン
07/08 (土)	アスエコ「指導者レベルアップ研修会・GEMSプログラム体験会」	国際交流C
07/10 (月)	環境省「政策評価委員会①」	オンライン
07/20 (木)	環境省「環境教育等推進専門家会議②」	オンライン

08/01 (火)	EPO関西「関西SDGsプラットフォーム『ローカルSDGs脱炭素分科会』」	オンライン
08/02 (水)	中環審「総合政策部会」	オンライン
08/08 (火)	アスエコ「環境教育ミーティング」	岡山コンベンションC
08/24 (木)	環境省「環境教育等推進専門家会議③」	オンライン
08/30 (水)	中環審「総合政策部会」	オンライン
09/14 (木)	環境省「ローカルSDGs地域循環共生圏・地域の『ありたい姿』に近づくための、計画づくりと実行のポイント」	オンライン
09/21 (木)	環境省「環境教育等推進専門家会議④」	オンライン
10/10 (火)	EPO北海道「SDGs研究会」	オンライン
10/11 (水)	SSRC「企業のエシカル通信簿～ラナ・プラザの悲劇から10年。真のエシカルファッションとは？」	オンライン
10/19 (木)	環境省「環境教育等推進専門家会議⑤」	オンライン
10/23 (月)	環境省「ローカルSDGs地域循環共生圏・地域が盛り上がり、協働する仲間が増える『対話の場』のつくり方」	オンライン
10/30 (月)	中環審「総合政策部会・意見交換会」	オンライン
11/01 (水)	環境省「ESG経営における環境教育と企業～環境教育現場と企業の環境活動」	オンライン
11/09 (木)	環境省「光化学オキシダント健康影響評価検討会⑦」	オンライン
11/16 (木)	環境省「環境教育等推進専門家会議」	オンライン
11/22 (水)	中環審「総合政策部会・意見交換会」	オンライン
11/23 (木)	岡山ESD推進協議会「おかやまESDフォーラム 2023」	オンライン
11/24 (金)	中環審「総合政策部会・意見交換会」	オンライン
11/27 (月)	中環審「総合政策部会・意見交換会」	オンライン
11/30 (木)	環境省「ローカルSDGs地域循環共生圏・地域づくりの仲間の考えを引き出し、合意形成しながら前に進むための、『対話の場』『会議』の運営」	オンライン
12/01 (金)	環境省「環境スタートアップ大賞イベント」	オンライン
12/09 (土)	環境省「ESD推進ネットワーク全国フォーラム：気候変動を切り口としたESDの意義とひろがり～地域における場づくり・仕組みづくり～」	オンライン
12/18 (月)	中環審「環境保健部会・化学物質評価専門委員会」	オンライン
12/26 (火)	公益法人協会「公益法人協会シンポジウム 2023 ～新たな公益法人制度を目指して」	オンライン
12/26 (火)	ESD-J「ESDと生物多様性雑談トーク・ヤマネいきもの研究所の2023年をふりかえる」	オンライン
01/19 (金)	環境省「ローカルSDGs地域循環共生圏・新たな仲間や応援者を巻き込むための、伝え方・共感の生み方」	オンライン
01/19 (金)	防災学術連携体「緊急報告会・令和6年能登半島地震の概要とメカニズム」	オンライン
01/20 (土)	日本地域政策学会「北海道支部～持続可能な地域づくり・まちづくり～」	オンライン
01/21 (日)	PEACEDAY「オーガニックコットンを通して考える真の『エシカル消費』とは？」	オンライン
01/25 (木)	立命館「地球危機の時代に、どう挑むべきか」	オンライン
01/26 (金)	EPO北海道「ESD活動支援センター地域フォーラム・動物たちと考える気候変動～札幌市円山動物園×気候変動教育プロジェクト～」	オンライン
01/31 (水)	岡山環境保全事業団「おかやま環境フォーラム・高収益企業に学ぶ脱炭素時代の高付加価値戦略脱炭素×高付加価値＝高収益・高賃金」	オンライン
01/31 (水)	防災学術連携体「令和6年能登半島地震1カ月報告会」	オンライン
02/07 (水)	JICA「開発教育オンラインセミナー・聴く（聴覚）」	オンライン
02/17 (土)	奈良教育大「ESD国際シンポジウム in 奈良」	オンライン
02/24 (土)	真庭市「真庭SDGs円卓会議」	オンライン

02/24 (土)	E S D - J 「学校教育における 愛知県の ESD の今とこれから」	オンライン
02/28 (水)	環境省「化学物質と環境に関する政策対話」	オンライン
03/05 (火)	ユーザベース「スマートベースで日本を変える・まちづくりの至上的命題とリアル」	オンライン
03/06 (水)	J I C A 「開発教育オンラインセミナー・感じる」	オンライン
03/11 (月)	環境省「E S G 金融ハイレベル・パネル」	オンライン
03/18 (月)	環境市民「企業のエシカル通信簿結果発表・加工食品メーカー」	オンライン
03/25 (月)	防災学術連携体「令和6年能登半島地震3カ月報告会」	オンライン
03/25 (月)	共存の森「聞き書き甲子園フォーラム（森・里・海）」	オンライン
03/25 (月)	日本学術会議「シンポ・人口減少社会と防災減災」	オンライン
03/26 (火)	C A S A 「ちきゅう cafe」	オンライン
03/29 (金)	国連大学「S D G s 大学連携プラットフォーム公開シンポ」	オンライン

- ②会員登録いただいている個人会員及び団体会員のみならず、企業会員のみならずにも財団としてどんな情報提供が求められているのか、どんな情報提供が可能なのかを研究し、みなさまから必要とされる財団となれるよう引き続き情報収集をすすめます。

5. 法人管理部門

(1) 理事会、評議員会

- ①5月理事会では、評議員・理事・監事の辞任に伴う改選提案などを確認しました。
 ②6月定例評議員会では、評議員・理事・監事の辞任に伴う改選提案を提案通り議決しました。
 ③運営委員会を、7月、8月、2月に開催し、今後の事業運営について協議を行いました。

(2) 申請

- ①年度計画等の変更届を提出しました。
 ②2022年度の公益財団法人事業報告を提出しました。

(3) 会員管理

①会員数（2024年03月31日現在：納付済）

会員数	個人	団体	企業等	計
2023年3月	85 + 4	38 + 3	29	152 + 7
2024年3月	70 + 4	35 + 3	26	131 + 7

※「+α」は、学生会員（会費免除）

②2023年度入会・退会状況

	個人	団体	企業等	計
入会	4	1	1	6
退会	2	0	0	2

(4) 財政

①収益状況

- 1) 受取会費は、個人・団体・法人会員の納入が減少しました。これまで長期にわたり会費を納入させていただいた個人・団体の皆様の高齢化や団体活動の停止等が影響しました。

②経費状況

- 1) 財団財政は、経費執行は予算比105.2%（前年比91.1%）、収支は予算差23万円の約31万円の赤字となりました。

以上

公益財団法人おかやま環境ネットワーク役員・評議員

2023年度(令和05年度)

評議員 [任期] 2021(令和03)年評議員会終結の時～2025(令和07)年評議員会終結の時

	氏 名	略 歴 等
1	伊 東 秀 之	岡山県立大学副学長
2	大 倉 和 幸	児島湖流域エコウェブ事務局長
3	大 塚 利 昭	日本野鳥の会岡山支部監事
4	加 藤 弘 樹	岡山大学生協同組合専務理事
5	小 橋 賢 之	(株) 建美装社代表取締役
6	田 中 照 周	生活協同組合おかやまコープ理事長
7	鍋 谷 理恵子	生活協同組合おかやまコープ理事
8	日 野 進一郎	グローカルネット吉備代表 / 日野環境デザイン研究所代表
9	平 田 まき子	前加計学園水質管理室
10	福 田 佳 代	環境カウンセラーおかやま役員
11	安 井 進	岡山医療生活協同組合常務理事

以上、評議員 11 名 (50 音順) ※略歴は、2023 年度期首確認時のものです。

理事 [任期] 2022(令和4)年評議員会終結の時～2024(令和6)年評議員会終結の時

	氏 名	略 歴 等
1	秋 山 秀 行	(株) 大町代表取締役社長
2	井 勝 久 喜	吉備国際大学教授
3	沖 陽 子	岡山県立大学学長
4	加 藤 内蔵進	岡山大学大学院教育学研究科名誉教授 (特命教授)
5	高 坂 知 典	生活協同組合おかやまコープ職員
6	志 賀 秀 樹	生活協同組合おかやまコープ組合員活動グループ統括
7	嶋 一 徹	岡山大学教授
8	清 水 善 朗	弁護士
9	田 中 丈 裕	特定非営利活動法人里海づくり研究会議理事・事務局長
10	野 上 祐 作	岡山理科大学名誉教授
11	花 口 光	岡山の自然を守る会事務局長・会長
12	三 村 康	サンコー印刷 (株) 代表取締役
13	山 口 一 裕	岡山理科大学教育推進機構教育開発センター長
14	山 田 哲 弘	公益財団法人岡山県環境保全事業団環境学習プラザ「アスエコ」所長
15	吉 鷹 一 郎	岡山野生生物調査会事務局

以上、理事 15 名 (50 音順) ※略歴は、2023 年度期首確認時のものです。

代表理事：沖 陽子、業務執行理事：志賀 秀樹、高坂 知典

監事 [任期] 2022(令和4)年評議員会終結の時～2024(令和6)年評議員会終結の時

	氏 名	略 歴 等
1	三 宅 晴 久	生活協同組合おかやまコープ常勤監事
2	横 山 順 二	岡山手延素麺株式会社代表取締役

以上、監事 2 名 (50 音順) ※略歴は、2023 年度期首確認時のものです。

顧問 [任期：理事会において定める]

2018(平成30)年5月12日理事会終結の時～2024(令和6)年5月理事会終結の時

	氏 名	略 歴 等
1	青 山 勳	岡山大学名誉教授
2	河 原 長 美	岡山大学名誉教授
2	千 葉 喬 三	学校法人中国学園大学・中国短期大学学長

以上、顧問 3 名 (50 音順) ※略歴は、2023 年度期首確認時のものです。

事業報告書の附属明細書

1. 評議員及び理事、監事の報酬等の状況

区分	定款上の定員（名）	人員数（名）	支給額
評議員	3名以上15名以内	11名	無
理 事	3名以上17名以内	15名	無
監 事	2名以内	2名	無
合計		28名	—

2. その他の事業報告書の内容を補足する重要な事項 該当事項はありません。

3. 2023年度評議員会・理事会・監事監査一覧

開催日	会議名	開催日	会議名	開催日	会議名
04/12(水)	監事監査	06/10(土)	評議員会	10/21(土)	理事会
05/13(土)	理事会	10/11(水)	監事監査	03/02(土)	理事会

4. 2023年度主催（共催）実施事業一覧 多くのご参加、ご支援、ありがとうございました。

開催日	事業名	参加数	開催日	事業名	参加数
04/08(土)	体験P・村田製作所さくら見学	116	09/18(月)	体験P・秋の猛禽の渡り観察会	17
04/15(土)	ホテル団体交流会	10	09/30(土)	体験P・村田製作所親子企画③	33
04/29(土)	環境講座・大野川筍掘り等	33	10/10(火)	体験P・岡山東アマモット作成	22
05/13(土)	助成活動報告会	22	10/11(水)	体験P・笠岡神内小アマモ教室	31
05/27(土)	体験P・美咲町田んぼピオトープ観察	15	10/15(日)	環境講座・大野川いきもの調査会	20
05/27(土)	環境講座・村田製作所ホテル鑑賞	234	10/19(木)	体験P・岡山学芸館高校アマモ場再生授業	28
05/28(日)	体験P・牛窓筵江海岸海ごみ回収	38	10/24(火)	体験P・井笠アマモット作成	10
06/03(土)	体験P・日生アマモ種取&いきもの観察	79	10/25(水)	環境講座・岡山西環境カレンダー学習会	22
06/10(土)	環境講座・大野川ホテル調査会	12	11/05(日)	旭川かいぼり調査	400
06/24(土)	環境講座・由加ヒメホテル観察会	16	11/10(金)	体験P・日生西小アマモ教室	56
06/28(水)	事業・決算報告書発行	800部	12/03(日)	体験P・扇海岸海ごみ清掃体験	44
07/13(木)	環境家計簿レポート発行	1000部	12/08(金)	環境カレンダー発行	1400部
07/22(土)	体験P・村田製作所親子企画①	56	12/16(土)	環境行政学習会（倉敷市）	22
07/29(土)	シンポ・くらしを支える生態系サービス～いま考えたい生産者と消費者のつながり～	116	01/20(土)	環境行政学習会（瀬戸内市）	14
08/11(金)	体験P・村田製作所親子企画②	26	01/27(土)	体験P・村田製作所親子企画④	15
08/19(土)	体験P・大野川川あそび	26	02/03(土)	ホテル団体交流会	7
08/26(土)	シンポ・里海シンポジウム in 笠岡・豊かな海の再生～増やそう海の応援団～	133	03/01(金)	環境NWニュース発行	600部
09/02(土)	ホテル団体交流会	8	03/16(土)	環境行政学習会（岡山市）	19
09/16(土)	体験P・日生アマモ種選別種まき	91			

※メール・ニュース等は、他団体企画掲載要請を含め、随時配信を行いました。

5. 2023年度主催会議等一覧

開催日	会議名	開催日	会議名
04/07(金)	理事会打ち合わせ	09/05(火)	環境家計簿委員会
04/15(土)	自然とくらし部会	09/05(火)	里海づくり推進部会
04/26(水)	里海づくり推進部会・シンポ打ち合わせ	09/09(土)	自然とくらし部会視察
05/10(水)	環境講座打ち合わせ	09/26(火)	環境家計簿委員会
05/23(火)	里海づくり推進部会	10/07(土)	自然とくらし部会
05/30(火)	環境家計簿委員会	11/21(火)	里海づくり推進部会
06/15(木)	里海づくり推進部会・シンポ打ち合わせ	11/25(土)	自然とくらし部会・視察
06/16(金)	自然とくらし部会・シンポ打ち合わせ	12/01(金)	理事学習会打ち合わせ
06/18(日)	自然とくらし部会	12/02(土)	自然とくらし部会
07/06(木)	自然とくらし部会・シンポ打ち合わせ	12/06(水)	理事学習会打ち合わせ
07/10(月)	自然とくらし部会・シンポ打ち合わせ	12/22(金)	自然とくらし部会打ち合わせ
07/11(火)	運営委員会	02/03(土)	自然とくらし部会
07/14(金)	自然とくらし部会・シンポ打ち合わせ	02/05(月)	助成部会
07/22(土)	自然とくらし部会	02/13(火)	里海づくり推進部会
07/25(火)	里海づくり推進部会	02/16(金)	体験プログラム打ち合わせ
08/03(木)	里海づくり推進部会打ち合わせ	02/16(金)	運営委員会
08/10(木)	運営委員会	02/27(火)	体験プログラム打ち合わせ
08/16(水)	里海づくり推進部会・シンポ打ち合わせ	03/05(火)	助成事業打ち合わせ
08/18(金)	里海づくり推進部会	03/18(月)	助成事業打ち合わせ
08/18(金)	自然とくらし部会	03/18(月)	里海づくり推進部会打ち合わせ
09/05(火)	里海づくり推進部会		

6. 年度別事業実施数と事業参加人数推移

年度	事業数	参加人数	年度	事業数	参加人数	年度	事業数	参加人数
2001年度	10	501	2009年度	13	1,058	2017年度	22	3,462
2002年度	10	668	2010年度	14	1,440	2018年度	21	3,692
2003年度	11	751	2011年度	16	2,057	2019年度	21	1,900
2004年度	11	537	2012年度	18	2,579	2020年度	21	872
2005年度	11	655	2013年度	21	3,101	2021年度	23	945
2006年度	10	725	2014年度	23	3,699	2022年度	28	1,141
2007年度	10	609	2015年度	21	3,746	2023年度	34	1,799
2008年度	10	667	2016年度	24	4,305			

※2019年度集計より、メールアドレス登録者数、発行物発行数を集計から除いています。

※コロナ禍終結後、企画数とともに、参加者数も増加傾向にあります。

I. 財務諸表

貸 借 対 照 表

2024年03月31日現在

(単位:円)

科 目	当 期 金 額	前年同月金額	当期増減額
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,578,828	1,708,717	△ 129,889
未収金	0	0	0
前払金	0	0	0
仮払金	0	0	0
流動資産合計	1,578,828	1,708,717	△ 129,889
2. 固定資産			
基本財産			
投資有価証券	100,000,000	100,000,000	0
定期預金	15,000,000	15,000,000	0
基本財産合計	115,000,000	115,000,000	0
特定資産			
特定財産合計	0	0	0
その他の固定資産			
器具備品	0	0	0
減価償却累計額	0	0	0
その他の固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	115,000,000	115,000,000	0
資産合計	116,578,828	116,708,717	△ 129,889
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	65,780	54,551	11,229
前受会費	456,000	290,000	166,000
預り金	3,000	2,000	1,000
流動負債合計	524,780	346,551	178,229
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	524,780	346,551	178,229
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	116,054,048	116,362,166	-308,118
(うち基本財産への充当額)	11,500,000	11,500,000	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	116,054,048	116,362,166	△ 308,118
負債および正味財産合計	116,578,828	116,708,717	△ 129,889

正味財産増減計算書

2023年04月01日から2024年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	当年度予算	前年度実績	実績増減
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益	1,800,300	1,800,000	1,800,300	0
②特定資産運用益	0	0		0
③受取会費	1,806,000	1,840,000	1,840,000	-1,840,000
④事業収益	0	0		1,806,000
⑤受取補助金等	0	0		0
⑥受取寄附金	3,000	0	15,255	-12,255
⑦雑収益	0	0		0
⑧受取利息	4	4	5	-1
経常収益計	3,609,304	3,640,004	3,655,560	-46,256
(2) 経常費用				
①事業費	3,801,334	3,617,894	4,130,852	-329,518
給料手当	0	0	0	0
臨時雇賃金	282,973	345,000	401,178	-118,205
旅費交通費	262,855	276,500	216,190	46,665
通信交通費	147,104	207,234	143,377	3,727
通信運搬費	0	0	1,510	-1,510
減価償却費	0	0	0	0
消耗品費	292,898	98,450	1,041,529	-748,631
印刷製本費	832,249	510,500	563,629	268,620
賃借料	389,620	544,220	302,620	87,000
諸謝金	392,507	572,000	360,233	32,274
支払助成金	529,758	654,900	660,910	-131,152
雑費	671,370	409,090	439,676	231,694
研修費	0	0	0	0
②管理費	116,088	109,126	169,152	-53,064
給料手当	0	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0
旅費交通費	32,070	35,400	32,700	-630
通信交通費	29,907	26,486	35,630	-5,723
通信運搬費	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0
消耗品費	6,157	3,650	54,064	-47,907
印刷製本費	4,091	1,500	2,945	1,146
賃借料	39,580	27,480	38,380	1,200
諸謝金	0	0	0	0
雑費	4,283	9,610	5,433	-1,150
研修費	0	5,000	0	0
公租公課	0	0	0	0
経常費用計	3,917,422	3,727,020	4,300,004	-382,582
当期経常増減額	-308,118	-87,016	-644,444	336,326
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
基本財産評価益	0	0	0	0
固定資産売却益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
基本財産評価損	0	0	0	0
固定資産売却損	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-308,118	-87,016	-644,444	336,326
一般正味財産期首残高	116,362,166	116,362,166	117,006,610	-644,444
一般正味財産期末残高	116,054,048	116,275,150	116,362,166	-308,118
II. 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減の部				
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III. 正味財産期末残高	116,054,048	116,275,150	116,362,166	-308,118

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
償却原価法によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券 第122回利付国債	100,000,000	0	0	100,000,000
定期預金	15,000,000	0	0	15,000,000
小 計	115,000,000	0	0	115,000,000
特定資産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	115,000,000	0	0	115,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券 第122回利付国債	100,000,000		100,000,000	
定期預金	15,000,000		15,000,000	
小 計	115,000,000	0	115,000,000	0
特定資産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	115,000,000	0	115,000,000	0

Ⅱ. 附 属 明 細 書

- (1) 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記のとおりである。
 (2) 引当金は該当なし。

Ⅲ. 財 産 目 録

2024年03月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	37,018
	普通預金	中国銀行奉還町支店	運転資金として	1,380,058
	郵便振替	ゆうちょ銀行(伊福町)	運転資金として	161,752
	前払金			0
	仮払金			0
流動資産合計				1,578,828
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券 定期預金	第122回利付国債	公益目的保有財産として保有	100,000,000
		中国銀行奉還町支店	公益目的保有財産として保有	15,000,000
特定資産		中国銀行奉還町支店	特定費用準備資金(公益目的) として管理	0
その他の固定 資産				0
固定資産合計				115,000,000
資産合計				116,578,828
(流動負債)	未払金			65,780
	前受会費	個人会費 54件 57口 団体会費 12件 21口 法人会費 15件 15口	公益目的事業及び管理目的の業務 に使用する翌年度の会費	456,000
	預り金	寄付金 02件 03口		3,000
流動負債合計				524,780
(固定負債)				
固定負債合計				0
負債合計				524,780
正味財産				116,054,048

監 査 報 告 書

私たち監事は、2023年4月1日から2024年3月31日までの2023年3月期事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、他の監事と意思疎通及び情報の交換を図るほか、監査方針等に従い、理事と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会や報告会等に参加し、理事からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、重要な書類等を閲覧し、本部事務所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告書等の監査結果

- 一 事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 財務諸表等の監査結果

財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2024年04月11日

公益財団法人 おかやま環境ネットワーク

監事 三宅晴久 

監事 横山順二 

公益財団法人おかやま環境ネットワーク

2030年に向けた組織行動方針

2021年10月末から11月中旬にかけて、英国のグラスゴーで開催されたCOP26において、2030年までの10年間を“決定的な10年間”と位置づけ、気候変動の悪影響を回避する上で、気温の上昇幅を1.5℃に抑えることを目標とする合意がなされました。この目標の達成に向けて各国がどのような対策を掲げ、そのための行動をどれだけ加速できるかがカギとなっています。

このような状況の中で、創立20年を迎えた「おかやま環境ネットワーク」の今後の活動を展望する契機として、2021年の11月、20周年記念シンポジウムを開催致しました。枝廣淳子さんの基調講演及びパネルディスカッションを通して、我々の身近なくらしが地域経済や地球環境にどのように関係しているのかについて議論致しました。

そして、おかやま環境ネットワークを支える理事で協議を重ね、下記のような今後10年間の長期ビジョンの骨子を作成致しました。

（公財）おかやま環境ネットワークは、産官学民の連携の下、2030年に向けてネットワークを充実させながら未来社会に活かす環境マインドと、岡山の自然環境とくらしを維持する地域力を養い、次世代を担う笑顔に満ちた子どもたちにそれらを継承していくことをミッションとします。

具体的な活動としては、①森・里・川・海などの生態系保全への対応、②エネルギー問題を踏まえた気候変動への対応、③廃プラスチックをはじめ私達のくらしから発生するさまざまな廃棄物への対応、④今後やってくることが予測される食糧危機への対応などを対象とすることに致しました。

これらは互いに関連する問題であり、目標とする未来社会を起点として、これらに対して私達が今何をなすべきかを考える必要があります。

おかやま環境ネットワークがこれらを実践するためには、岡山県内の環境保全活動団体や個々の県民の皆さんとの情報の交換・共有を行い、時には調査・研究の協働が必要と考えます。さらに、異なる世代間の交流を積極的に図りながら豊かなネットワークを構築していく所存です。ご支援のほどよろしくお願い致します。

以上

2022年04月01日

公益財団法人おかやま環境ネットワーク理事会

2024年度の事業計画

◆はじめに 『参加と行動 ～あらゆる主体の参加・行動を促します～』

- ・かけがえのない地球を守り、私たちの生命を育んでいる健全で恵み豊かな環境を保全しながら将来に引き継ぐためには、社会を構成するあらゆる主体の参加と行動が必要です。
- ・「おかやま環境ネットワーク」は、2030年に向け、産学官民連携の下、ネットワークを拡げながら、未来社会に活かす環境マインドの醸成と豊かな岡山の自然環境とくらしを維持する地域力を創り、子どもの笑顔に結びつけられるよう次世代に継承することをミッションとします。

1. ネットワーク・広報・研究・助成事業

①助成事業

- ・県内の環境団体の育成と環境問題の研究に対して財政的な支援を図ります。
- ・「助成活動報告会」は、前年度助成団体による活動報告と、意見交流を行います。

②ホタル団体交流会・ホタル現地視察会

- ・ホタル団体交流会は、ホタルに関する取り組みを実施している団体や関心ある個人の参加のもと交流をすすめ、自然環境保全活動の前進を図ります。
- ・ホタル団体交流会は、次世代の育成や子どもたちにホタルの住む環境を残すことの大切さを伝えていく方策の検討及び具体化を図ります。
- ・ホタル生息地や保全活動実施地域を訪れ、ホタルの生態と自然環境の観察をしながら、地域の皆様、参加者が意見交換し、より望ましい保全のあり方等について考えることを目的に現地視察を行います。

③ニュース、ホームページ、メールニュースの発行

- ・各媒体の特徴を活かし、多様な情報発信、情報共有、各主体の交流の促進と、事業への参加や協力を促します。
- ・ニュースは年2回発行とし、様々な情報提供、活動紹介をすすめます。
- ・メールニュースは月2回を基本に発行し、タイムリーな情報発信をすすめます。
- ・「事業紹介パンフレット」や「事業・決算報告並びに事業計画・予算書」を作成し、広く活動の理解につなげ、それらを活用した会員獲得をすすめます。

④環境家計簿活動の普及

- ・環境家計簿の普及を通じ、家庭部門のCO2排出削減をすすめ、環境に配慮したくらしを見直す活動をすすめます。
- ・岡山市と協働で「環境家計簿レポート・環境家計簿カレンダー」を発行し、啓発につなげます。

⑤自然環境の研究・交流

- ・「里海づくり推進部会」で、県内の活動の推進、学習・交流企画等の具体化を図ります。
- ・「おかやまの豊かな自然とくらしを考える部会」で、県内の自然環境に関わる団体・個人との交流や研究調査等の具体化を図ります。
- ・気候温暖化やプラスチック類による環境影響などくらしとのかかわりで行動変容が求められている課題について継続して学習や交流企画等の具体化を図ります。

⑥他団体、行政等とのつながり

- ・他団体や行政等との日常的なコミュニケーションを強め、共催事業の具体化や、委員会などの場で役割を発揮します。

2. 啓発事業

他団体や行政等との連携と協働をすすめます。

①市民のための環境講座

- ・環境問題を正しく理解し、意識啓発や行動を促し、社会全体の持続可能性を形づくる基本概念を学ぶことを目的に開催します。
- ・豊かな環境を次世代に継承できるよう、幅広い課題について、情報を発信します。
- ・気候変動の中、市民科学の視点による定点モニタリングなどを通して、経年変化の記録・情報収集を進めます。
- ・「旭川かいぼり調査2024」を地元団体等と共催で開催します。

②体験プログラム

- ・体験を通して得られる実感や理解をもとに、人間と環境との関わりや、豊かな環境とその恵みを大切に思う心をはぐくみ、命の大切さを学び、環境や普段のくらしを自ら考えるきっかけをつくることを目的に機会提供をすすめます。
- ・岡山の豊かな自然を身近に感じ、森・里・川・海の連環について、体験を通して学ぶ機会提供を進めます。
- ・食品ロスやプラスチックごみなど、くらしと結びついた廃棄物の問題について、体験を通して学ぶ機会提供を進めます。
- ・アマモ場再生関連企画を継続し、きれいで豊かな海の再生を応援します。

3. 法人管理・会計等

①公益財団法人の組織運営

- ・新制度に沿った組織運営をすすめます。
- ・理事・監事の任期満了に伴い改選します。

②予算

- ・収支相償の原則を踏まえた収支予算管理を目指します。

収 支 予 算 書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合計
	公 1	公 2	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益			1,800,000	1,800,000	0	1,800,000
特定資産運用益				0	0	0
受取会費			1,625,400	1,625,400	180,600	1,806,000
事業収益				0	0	0
受取補助金等				0	0	0
受取寄附金				0	0	0
特定費用準備資金取崩				0	0	0
雑収益				0	0	0
経常収益計	0	0	3,425,400	3,425,400	180,600	3,606,000
(2) 経常費用						
事業費	1,839,827	1,269,250	482,803	3,591,880		3,591,880
給料手当	0	0	0	0		0
臨時雇賃金	258,750	86,250	0	345,000		345,000
旅費交通費	350,000	18,000	1,500	369,500		369,500
通信交通費	61,500	23,500	43,493	128,493		128,493
通信運搬費	0	0	0	0		0
減価償却費	0	0	0	0		0
消耗品費	2,000	22,500	73,250	97,750		97,750
印刷製本費	345,000	85,000	87,000	517,000		517,000
賃借料	35,500	62,000	225,720	323,220		323,220
諸謝金	0	453,000	0	453,000		453,000
支払助成金	751,577	0	0	751,577		751,577
雑費	35,500	519,000	51,840	606,340		606,340
研修費	0	0	0	0		0
管理費					106,078	106,078
給料手当					0	0
臨時雇賃金					0	0
会議費					0	0
旅費交通費					34,400	34,400
通信交通費					26,288	26,288
通信運搬費					0	0
減価償却費					0	0
消耗品費					4,250	4,250
印刷製本費					3,000	3,000
賃借料					33,680	33,680
諸謝金					0	0
雑費					4,460	4,460
研修費					0	0
公租公課					0	0
経常費用計	1,839,827	1,269,250	482,803	3,591,880	106,078	3,697,958
当期経常増減額	-1,839,827	-1,269,250	2,942,597	-166,480	74,522	-91,958

公益財団法人おかやま環境ネットワーク定款

第1章 総 則

(名称)

第1条 この法人は、公益財団法人おかやま環境ネットワークと称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を岡山県岡山市に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、ふるさと岡山の自然とくらしに関する環境保全及び環境問題の解決に向け、研究・啓発活動をはじめ、県内の環境活動団体の交流や相互支援の促進を図り、もって地球環境保全に寄与することを目的とする。

(公益目的事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) ネットワーク事業(①環境保全活動の交流に関する事業、②環境情報の提供に関する事業、③地域環境、地球環境、くらしの調査、研究に関する事業、④地域の環境活動団体に対する支援事業)
- (2) 啓発事業(地域環境、地球環境を大切にする啓発に関する事業)
- (3) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 前項の事業は、岡山県内において行うものとする。

第3章 資産及び会計

(基本財産)

第5条 この法人の目的である事業を行うために不可欠な財産として、評議員会で定めた財産をこの法人の基本財産とする。

2 基本財産は、評議員会において別に定めるところにより、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならないが、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を要する。

(事業年度)

第6条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第7条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度開始の日の前日までに、代表理事が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第8条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、代表理事が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 損益計算書(正味財産増減計算書)
- (5) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書
- (6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号、第5号、及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
- (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
- (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第9条 代表理事は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする。

第4章 評議員

(評議員)

第10条 この法人に評議員3名以上15名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第11条 評議員の選任及び解任は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第179条から第195条の規定に従い、評議員会において行う。

2 評議員を選任する場合には、次の各号の要件をいずれも満たさなければならない。

- (1) 各評議員について、次のイからへに該当する評議員の合計数が評議員の総数の3分の1を超えないものであること。

- イ 当該評議員及びその配偶者又は3親等内の親族
- ロ 当該評議員と婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者
- ハ 当該評議員の使用人
- ニ ロ又はハに掲げる者以外の者であって、当該評議員から受ける金銭その他の財産によって生計を維持しているもの
- ホ ハ又はニに掲げる者の配偶者
- ヘ ロからニまでに掲げる者の3親等内の親族であって、これらの者と生計を一にするもの
- (2) 他の同一の団体(公益法人を除く。)の次のイからニに該当する評議員の合計数が評議員の総数の3分の1を超えないものであること。
- イ 理事
- ロ 使用人
- ハ 当該他の同一の団体の理事以外の役員(法人でない団体で代表者又は管理人の定めのあるものにあつては、その代表者又は管理人)又は業務を執行する社員である者
- ニ 次に掲げる団体においてその職員(国会議員及び地方公共団体の議会の議員を除く。)である者
 - ① 国の機関
 - ② 地方公共団体
 - ③ 独立行政法人通則法第2条第1項に規定する独立行政法人
 - ④ 国立大学法人法第2条第1項に規定する国立大学法人又は同条第3項に規定する大学共同利用機関法人
 - ⑤ 地方独立行政法人法第2条第1項に規定する地方独立行政法人
 - ⑥ 特殊法人(特別の法律により特別の設立行為をもって設立された法人であって、総務省設置法第4条第15号の規定の適用を受けるものをいう。)又は認可法人(特別の法律により設立され、かつ、その設立に関し行政官庁の認可を要する法人をいう。)

(評議員の任期)

- 第12条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。
- 3 評議員は、第10条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員に対する報酬等)

- 第13条 評議員は、無報酬とする。

第5章 評議員会

(構成)

- 第14条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

(権限)

- 第15条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任及び解任
- (2) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)並びにこれらの附属明細書の承認
- (3) 定款の変更
- (4) 残余財産の処分
- (5) 基本財産の処分又は除外の承認
- (6) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

- 第16条 評議員会は、定時評議員会として毎年度終了後3箇月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

- 第17条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき代表理事が招集する。

- 2 評議員は、代表理事に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

- 第18条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 定款の変更
- (3) 基本財産の処分又は除外の承認
- (4) その他法令で定められた事項

- 3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第20条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

- 第19条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 評議員会において選定された議事録署名人は、前項の議事録に記名押印する。

第6章 役員

(役員設置)

第20条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 3名以上17名以内
- (2) 監事 2名以内

2 理事のうち1名を代表理事とし、代表理事以外の理事のうち1名以上2名以内を業務執行理事とする。

(役員選任)

第21条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 代表理事及び業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(理事の職務及び権限)

第22条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 代表理事は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、業務執行理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。

3 代表理事及び業務執行理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第23条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第24条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第20条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第25条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第26条 理事及び監事は、無報酬とする。

(顧問)

第27条 この法人には任意機関として、顧問を若干名置くことができる。

2 顧問は、学識経験者のうちから理事会において任期を定めた上で選任する。

3 顧問は代表理事の諮問に応え、代表理事に参考意見を述べることができる。

4 顧問は、無報酬とする。ただし、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

第7章 理事会

(構成)

第28条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第29条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 代表理事及び業務執行理事の選定及び解職

(招集)

第30条 理事会は、代表理事が招集する。

2 代表理事が欠けたとき又は代表理事に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第31条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第32条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 当該理事会に出席した代表理事及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第8章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第33条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

2 前項の規定は、この定款の第3条及び第4条及び第11条についても適用する。

(解散)

第34条 この法人は、基本財産の滅失によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由によって解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第35条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合(その権利義

務を承継する法人が公益法人であるときを除く。)には、評議員会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第36条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第9章 維持会員

(維持会員)

第37条 この法人は、この法人の趣旨に賛同し、後援する個人又は団体を維持会員とすることができる。

2 維持会員は、この法人に会費を納めることとし、会費の基準及びその他維持会員に関する必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

第10章 公告の方法

(公告の方法)

第38条 この法人の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する。

附 則

1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。

2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益法人の設立の登記を行ったときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

3 この法人の最初の代表理事は青山勲とする。

4 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。
伊藤國彦、大山健二、北川文夫、小橋賢之、近藤紗智子、田中敦子、田中照周、日野進一郎、檜山伸吾、平田まき子、平林明成、福留正治、藤田賢治、山崎晶弘

5 この法人の最初の業務執行理事は榊誠司、梅崎一夫とする。

◆会員募集中！

是非会員となってご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

●年会費1口は

(1口以上の納入をお願いいたします)

- ・個人・団体・公益法人：2,000円
- ・企業・協同組合：20,000円
- ・学生：無料(対象は大学生・大学院生・高校生、但し就職時は対象外)

●会費の振込先

- ・口座名義
「公益財団法人おかやま環境ネットワーク」
- ・銀行口座 中国銀行 奉還町支店
普通口座 1757367
- ・ゆうちょ銀行口座
01300-8-66727

◆メールニュース(毎月第2・第4水曜日発行)で、各種企画のご案内ができます！

メールニュースには、おかやま環境ネットワークの企画情報や、会員団体等のイベント情報を掲載しています。

各種企画等の案内配信希望の方は、メールにて、件名を『メールニュース配信希望』とし、メールアドレス・お名前(必須)、所属団体・会社名(任意)、企画名、日時、場所、参加費、申込先・締切日等を送信してください。

随時掲載させていただきます。



おかやま環境ネットワークロゴマーク

「おかやま環境ネットワーク」の頭文字をひらがなの『お』をモチーフにして、
環境の青空と若葉を融合し活動を分かりやすく表現しています。
未来に豊かな自然、より良き環境を残したいものです。

公益財団法人 **おかやま環境ネットワーク**

Okayama Environment Network Foundation

〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7(オルガ6階)

FAX : 086-256-2565

携帯電話 : 070-2355-1420

E-mail : kankyounet@okayama.coop

HP : <https://okayama.coop/kankyounet/>

Facebook : 公益財団法人おかやま環境ネットワーク

おかやま環境ネットワーク

検索